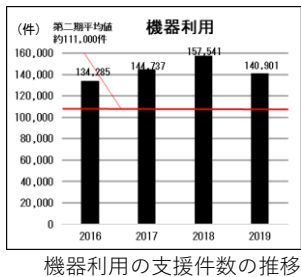


第三期(平成28年度から令和2年度)の主な取組・成果

- 第三期中期計画における数値目標は現時点で概ね達成
第二期から第三期にかけて技術相談や機器利用等大幅に件数増加
- ロボット開発やIoT導入支援等、**新たな技術課題にも対応**
共同研究によるロボット分野の製品化・事業化の促進、IoT支援サイトの開設
- 中小企業振興公社や金融機関等と**連携した支援を充実**
例：きらぼしFGなどの連携協定締結機関との連携相談や技術審査への協力など



共同開発したロボットの実証実験



連携支援例

産技研を取り巻く環境等

【都の計画・方針】

- ・ 『未来の東京』戦略ビジョン⇒**スタートアップ支援**の充実
- ・ スマート東京実施戦略⇒ Society5.0をはじめとする**高度化・複雑化する技術課題への対応**
- ・ 食品産業振興に向けた支援方針⇒**消費者ニーズの多様化**に伴う食品産業における技術的課題への対応

【外部環境】

新型コロナウイルス感染症拡大を受け、3密を避ける新たなライフスタイルへの転換が求められる。

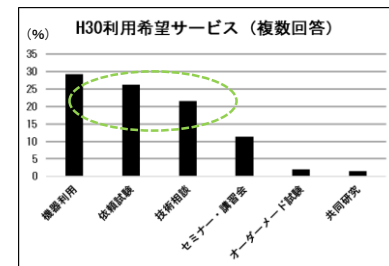


ドアオープナー

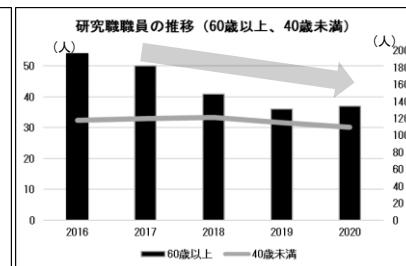
【内部環境】

製品開発につながるサービスに対する希望が多い

技術力のあるベテラン職員が減少若手職員数は横ばい



H30 都産技研の利用に関する調査



研究職職員数の推移

第四期(令和3年度から令和7年度)に向けた課題

① 事業化を見据えた支援

ICTツール等を最大限活用した切れ目のない支援の展開が必要

② テクノロジーの進展や

多様化する社会ニーズへの対応

最先端技術や成長分野、非接触技術のニーズに対応した体制づくりが必要

③ 新たなプレーヤーとの共創

オープンイノベーションによるマッチングやスタートアップ企業への支援強化のため新たな仕組みづくりが必要

第四期中期目標の視点

視点1

東京の中小企業の技術力と稼ぐ力の底上げ

- ・ 研究開発の成果を中小企業の製品・技術開発へつなぐ
- ・ 多様化する技術課題に対してワンストップで対応
- ・ 職員の技術支援力の強化

視点2

先端技術や社会ニーズを捉えた東京の産業力強化

- ・ 5Gなど、先端技術導入に向けた支援の充実
- ・ 新たなビジネスが期待できる食品・医療などの分野への技術支援のレベルアップ
- ・ 3密の回避など、新たな生活様式の実践に必要な技術支援を展開

視点3

産技研の資源やネットワークの効果的活用

- ・ 産技研の施設等豊富な資源を活かしたオープンイノベーションの促進
- ・ 研究開発型スタートアップの事業化までを強力に支援